

令和6年
会報 4
月号

もくじ

1面 シルバー事業新年度に向けて

2面 家事援助研修会開催
大江川清掃ボラ実施

3面 一宮の史跡散歩
第6回理事会開催

4面 文芸、その他

シルバー いちのみや

題字 一宮市長 中野正康 氏

発行 (公社) 一宮市シルバー人材センター
☎491-0045 一宮市音羽 1-5-17 (ききょう会館3階)

編集 広報委員会会報班 TEL(0586)71-0105 FAX(0586)73-4367

シルバー事業新年度に向けて

令和5年度は様々な制約がなくなり、当センターにおいても4年ぶりに一宮市民会館での総会を行うなど、日常生活においては以前の活気が戻ってきましたが、国際情勢はいまだ不安定であり、その影響による物価の高騰や記録的な円安など、私たちの社会生活は引き続き厳しい状況が続いています。このことは、シルバー人材センターにおける受案件数や契約金額にもその影響が及ぶものと考え、引き続き注視していくことが必要です。

しかしながら、少子高齢化が進み人口が減少している中で、生涯現役として働く意欲のある高齢者が、長年培った知識や経験を生かすことができる就業機会の提供を行うシルバー人材センターの役割は、ますます重要になっています。

こうした状況の中、一宮市シルバー人材センターは、「自主・自立、共働・共助」の理念に基づき、会員の自主的な活動により就業機会の拡大に努め、健康で働く意欲のある高齢者であれば、いつでもシルバー事業に参加できる環境を整備し、基本目標「安心・安全、親切・丁寧」をさらに高め、市民の多様なニ

ーズに答えなければなりません。

さらには、「第3次中期計画」に基づき、「公益社団法人としての健全な運営」、「普及啓発活動の推進」、「会員の増強」、「就業機会の開拓と確保」、「安全就業の徹底」、「財政基盤の確立」、「独自事業と本町ふれあい広場の事業運営の推進」などの恒常的な課題を、会員、役員及び事務局が一丸となって推し進めていく必要があります。

特に「会員の増強」については、会員の確保はシルバー組織の基盤であり、安定した事業運営の根幹です。会員数は平成29年度の1,129名からコロナ禍の影響も重なり4年連続で減少していましたが、令和4年度には前年度を若干上回る1,018名となり、令和5年度においても前年同月を上回って推移しています。今後も、会員の確保を喫緊の課題とし、入会の促進を図ります。



事故防止 急ぐな あせるな 気を抜くな
安心・安全・親切・丁寧

全国シルバーのスローガン
一宮市シルバー人材センター基本方針

家事援助研修会開催

令和6年3月4日(月)に家事援助研修会を開催したところ、10名の方の参加がありました(会員9名、一般参加1名)。

研修会では、センター職員による家事援助業務についての説明に続いて、講師として東海ヤクルト(株)の築山様をお招きし、腸内環境や腸内細菌の働きから健康を考える「おなか元気セミナー」が行われました。

家事援助業務に就業する際の注意点や健康維持のための知識を学ぶことができ、参加者は熱心に聴講していました。

以下に参加者の感想を掲載します。

私は、シルバーに入って21年目になりますが、毎年の家事援助講習会を楽しみにしています。ヤクルトが大好きなので、ヤクルトを飲んで、元気に就業したいと思います。

(林 仁恵)

家事援助業務の内容が詳しく理解できました。研修で学んだことを活かして、無理をしない就業を心がけようと思いました。

(小畑 定子)



おなか元気セミナーの様子

大江川清掃ボランティアの実施



大江川清掃ボランティアの様子

3月14日(木)に当センターの普及啓発活動の一環として大江川清掃ボランティアを実施しました。当日は晴天で、春の陽気を感じながら活動できました。

42名の会員が午前9時30分に大乘公園に集合し大正橋から花祇橋までの緑道や川岸でゴミや枯葉を拾いました。特に、吹き溜まりには多くの枯葉が集中していました。

ボランティア終了後には、参加者の皆さんに、粗品と飲み物をお渡ししました。きれいな大江川を見て、参加者の方々は爽やかな気分とともに、春の萌芽を実感していました。

大江川周辺は3月25日(月)から開催される桜まつりの会場です。ボランティア参加の皆さんの尽力により、ゴミもなく、きれいな状態でお祭りを迎えることが出来るでしょう。

参加された会員の皆さん、大変お疲れ様でした。



日々新た! 慣れた仕事に 危険あり

令和5年度安全標語 最優秀作品 (葉栗西) 松岡 善次

◀一宮の史跡散歩▶

吉藤城跡

吉藤城は織田信長の次男・織田信雄の家臣である遠藤三郎右衛門の居城として知られています。尚、妙興寺文書によると、嘉吉3年(1443年)にこの地で遠藤三郎宗次が開発代官を務めたという記述がある事から、この人が遠藤三郎右衛門の先祖で、この頃からすでに遠藤一族はこの地に住んでいたと思われる。

その後、遠藤三郎右衛門は美濃に移ったようですが、天正12年(1584年)に起きた「小牧長久手の戦い」では、織田長益(有楽斎)・滝川雄利・飯田半兵衛らが入城して守備を強化しました。一宮市明地字南古城在の城址跡は現在水田になっていますが、その一角に城址跡の石碑と案内板が建てられています。



吉藤城跡の石碑・案内板

令和5年度 第6回理事会の開催

3月26日(火)に令和5年度第6回理事会が開催されました。審議された議案及び協議事項、報告事項は以下の通りで、慎重審議の結果、全て承認されました。

○議案

- ・令和6年度事業計画(案)について
- ・令和6年度収支予算(案)について
- ・令和6年度役員賠償責任保険契約の締結について
- ・事務費規程の一部改正について

- ・派遣労働事業手数料規程の一部改正について

○協議事項

- ・本町ふれあい広場について

○報告事項

- ・正会員の入会について
- ・第3回安全就業委員会について
- ・職務執行状況の報告について
- ・事務実施状況について

※ 就業報告書(4月分)の提出は5月2日(木)までをお願いします。

令和5年度ヒヤリハット事例抜粋

ヒヤリハットとは事故に繋がりがかねないミスの中で、直前・直後に回避したミスや、幸い被害が小さかったミスを指します。就業中及び就業途上中に、ヒヤリハットは潜んでいます。今回紹介する事例を参考にし、安全第一で就業に臨みましょう。

(宮 西) 服部 清男

車で就業先へ行く途中、反対側車線が渋滞していたため、速度を落として走っていた時、渋滞列の間から急に子供が飛び出してきてヒヤリあわやという事態になりました。

(神 山) 後藤 昌弘

早朝まだ暗い時間帯、就業先へ行く途中交差点にて、無灯火の自転車が飛び出しハットしそのままぶつかり転びそうになってヒヤリ。

(浅 井) 酒井 清

市民病院の駐車場に就業中、前後出入口からの進入で音の静かな最近のハイブリッド車やEV車が、すぐ近くまで来ていてヒヤリ。

(開 明) 末吉 義信

ブルーシート折りたたみ作業中、思わぬ突風でシートがおおられハットし転倒しそうになりヒヤリ。

(木曾川) 中田 幸治

踏切で自転車のタイヤが線路のレールに挟まり転倒しそうになってヒヤリ。

(多数の投稿の内5件)

会員の文芸

川柳

(木曾川) 桐田 恵行

プーチンに同情票が集まった
無春秋サクラ・モミジはなんとする

(大 和) 越野 高光

渥美半島菜の花まつり春はすぐそこ
ガソリン高騰トリガー条項敷の中
万博トイレ2億円被災地トイレはまだ簡易

(西 成) 澤田 良晴

たの
楽さんば春を探して腹がへる
うさぎさんお世話になりますスリムです
川柳は夢に出てきて「ロト」出ない

短歌

(大 和) 伊藤 勝義

枯葉よと歌いし友は今何処
ベンチに座せば落葉舞い散る
通学の子らの背中を何回も
振り返り行く若き母親



ことば歳時記(卯月)

- ◎桜狩(さくらがり)
花に誘われて、野や山に桜を訪ね歩いて愛でること。花見のことではあるが、より花を求めて逍遥するおもむき。豪華なものより素朴なものが似合う。
- ◎桜衣(さくらごろも)
襲(かさね)の色目の一つで桜襲(さくらがさね)の衣をいう。表が白、裏が赤で春の衣とされる。
- ◎春暑し(はるあつし)
仲春或いは晩春の季節の移り行く時、好天に恵まれたりして、気温がぐんと上がり、時には汗ばむほどの暑さを覚える。夏の耐え難い暑さとは違う。

編集後記

令和6年度から、会報の発行は4月・6月・8月・10月・12月・1月の年6回となります。

発行回数は減少しますが、以前と変わらずに、センターの旬な情報をお届けいたしますので、お楽しみに！

また、「会員の文芸」欄に掲載する俳句や川柳・短歌も募集中です。

皆さんで会報をより賑やかにしていきましょう。